

“おばちゃん県議” 安川有里の政務活動壁新聞 冬号 討議資料

We ♥ よこすか



やすかわ ゆり

神奈川県議会議員

安川 有里



大阪市生まれ、横須賀市浦賀在住 早稲田大学教育学部卒業後、フリーアナウンサー、DJ、TVディレクターとして活動
結婚後は個別指導の塾講師として小学生～大学受験まで指導（社会・英語）＊県民企業常任委員会委員・美しい環境づくり審議会
委員・認知症サポーター「キャラバンメイト」・横須賀三浦稲門会常任理事・こども若者応援団団員・NPO 法人横須賀港湾防災支
援会会員・BBQ 連盟認定エキスパート 趣味: クイズ ハワイアンキルト

議員活動の見える化への取り組み

2014年は「政治とカネ」の問題がマスコミに多く取り上げられました。政治に不信感を募らせている方も多いと思います。私も議員の一人として残念です。議員が信頼を取り戻すために大切なことは、市民との誠実なコミュニケーションだと考えます。

市民との信頼をどうやって築いていくか？テレビや新聞に取り上げられる国会議員や最も地域に密着した市町村議員に比べ、県議会議員の活動は見えにくいと言われます。そこで私は、2011年に神奈川県議会議員になって以来、「議員活動の見える化」を積極的に行ってきました。毎日の議員活動の現場報告をBlogやFacebook、TwitterなどのSNSを活用し情報発信。印刷物として、政務活動報告書を毎月発行し市民の皆様に配布しています

さらに、現場主義を貫き、調査・聞き取り、民間主催の様々な会議や催し物、各種勉強会への参加を通じて積極的に意見収集を行い、カフェ形式の話し合いの場を作り、直接市民の声を聞き、政策に反映させています。このように様々な方法を統合し、コミュニケーション戦略を行っています。これからも日々精進して県政に取り組んでまいります。

子どもが「生まれてきて良かった！」高齢者が「長生きして良かった！」 そう思える社会のために

「安心して赤ちゃんを産める」「安心して子育てができる」「安心して介護ができる」そんな街づくりの基本は、実は、女性の力で支えられています。横須賀市選出の唯一の女性県議会議員として、皆さんの気持ちに寄り添って、しっかりと施策に取り組んでいきます。

教育は未来への贈り物

(子育て支援) 子育てには、家庭で親が取り組むことと、学校や地域、社会で大人が力を合わせて取り組むことの両面があります。そして子どもが大きく羽ばたいていこうとしている社会そのものを「生きやすい環境」に整えることが大切です。私が所属する県民企業常任委員会で、この問題に取り組んでいます。

(教育支援) 一人ひとりの生徒・児童に温かな配慮が行き届く教育を実現します。特に、生きづらさを感じる子ども達（いじめ・不登校・引きこもり etc.で苦しむ子ども達）の新しい選択肢を「子ども若者応援団」の一員として、当事者の皆さんや識者の方と模索し一定の成果を上げています。机上の空論になりがちなこの問題に、現場主義で取り組みます。

(高校教育) 神奈川県は、生徒の多様性にいち早く注目し、個性豊かな人材育成に力を入れています。さらに、社会で生き抜く力をつけて高校を巣立てるようなカリキュラムの徹底と、入学者選抜制度の改善を県教育委員会に強く要望しています。

(インクルーシブ教育) 障害がある者となない者が共に学ぶことを通して、共生社会の実現に貢献しようというのがインクルーシブ教育です。2006年国連総会で「障害者の権利に関する条約」が採択され、我が国も条約を批准しました。本県でも実践している県立高校があり、生徒一人ひとりが自立と社会参加に向けた活動に取り組んでいます。今後もインクルーシブ教育のより良いあり方を検討し、教育委員会に様々な提案を行っていきます。



安全・安心を重視した市民生活

(高齢者対策) すべての人が、地域で高齢になっても安心して暮らせるような社会にするために、特に、増加の一途をたどるひとり暮らし高齢者対策はこれからの大きな課題です。2015年から見直される介護保険についても、被保険者が納得できる透明性のある制度になるよう注視していきます。

(農林水産業) 地産地消で安全な農水産物を県民の皆さんに提供する為に、また、海と山に囲まれた立地を生かし農林水産業を活性化する為に、若い後継者のみなさんと意見交換しながら神奈川ならではの新しいあり方を追求していきます。

(生活困窮者対策) 非正規雇用者が増え、若者の貧困・ひとり親世帯の貧困が問題視されています。受け止めるだけのセーフティーネットではなく、社会復帰の為にやる気にさせて、もう一度バネの力を得させて復帰させることができるセーフティートランポリン型の制度の整備をこれからも要望していきます。

(防災・減災対策) 地域主権の危機管理の先進県を目指します。「地域の事は地域で決める。非常時は近隣地域と連携を持つ。」という危機管理の徹底を行政・町内会・市民が改めて確認できる仕組みの構築を目指します。

(薬害からのちを守る) 過去日本では多くの薬害訴訟がありました。薬害は医薬品の過大評価や利益が優先された時に発生します。最近では子宮頸がんワクチンの問題も浮き彫りになっています。このような被害からのちを守るため、これからも同じ思いを持つ国、県、市町村議員が協力して活動していきます。



議員になる以前から取り組んできた「環境政策」をはじめ、その他の政策については、ホームページをご覧ください。<http://www.yuri-yasukawa.com/>

連絡先 安川 有里 (やすかわ ゆり) 政務活動事務所

〒239-0831 神奈川県横須賀市久里浜4丁目5-4 久里浜ビル3F TEL/FAX 046-838-3389

安川有里

検索



討議資料

「議員活動の見える化」に向けて、活動報告書発行、ホームページのブログ、各種 SNS 随時更新！